海洋調査技術学会

第３８回研究成果発表会
プ　ロ　グ　ラ　ム

● 期　　間　　2026 年 11 月 26 日（木）～ 11 月 27 日（金）

● 場　　所　　東京海洋大学越中島キャンパス　８５周年記念会館
〒135-8533　東京都江東区越中島２－１－６
（ライブ配信なし）

● 参 加 費　　無料（事前登録不要）

● 講演要旨集　PDF 形式（印刷物なし）、事前ダウンロードをお願いします
頒布価格：会員無料（申込不要）、非会員 2,000 円（要事前申込）
会員にはメルマガで連絡（公開期間：令和 8 年 11 月 20 日～27 日予定）
非会員は「第 38 回要旨集 PDF 申込書」（学会 HP 掲載）で事前申込
令和 8 年 11 月 13 日（金）必着（振込は 11 月 16 日まで）

■ 主　催　　海洋調査技術学会
■ 後　援　　海上保安庁（申請調整中）
■ 協　賛　　以下調整中
IEEE　OES 日本支部、海中海底工学フォーラム ZERO、（NPO 法人）海洋音響学会、(一社)海洋調査協会、(一社）可視化情報学会、(一社)資源・素材学会、石油技術協会、地球電磁気・地球惑星圏学会、(公社）土木学会、日本沿岸域学会、(一社)日本海洋学会、(NPO 法人）日本海洋工学会、(NPO 法人)日本火山学会、(公社）日本航海学会、(公社)日本地震学会、(一社)日本写真測量学会、(公社)日本水産学会、日本水産工学会、(公社）日本船舶海洋工学会、(一社)日本リモートセンシング学会、(公社)物理探査学会（50 音順）

第 1 日　11 月 26 日(木)

開会挨拶	会長　道田　豊	10:30～10:35
研究成果発表(1)	座長　巻　俊宏（東京大学生産技術研究所）	10:35～11:55
1　海底画像による世界座標の位置推定手法について		
★　〇長野和則・田岡智・川島昇悟・小田﨑 壱成・高島創太郎・木川 栄一（㈱いであ）		
2　大型藻類藻場の三次元マッピングとブルーカーボン量推定に向けた UAV 吊下型ソナー計測システム		
★　の基礎実証		
〇本郷 颯人・橋本英明・渡邉柊斗（東大新領域）・阪本慎吾（㈱ウインディーネット）		
3　海底表層地盤を対象とした海底着座式 CPT（SS-CPT）の研究・開発と機能化強		
〇北 高穂・大平 亮（オーシャンエンジニアリング㈱）・高橋 英紀・野村 瞬・尾野 蒼介（東京海洋大学）・笠谷 貴史（海洋研究開発機構）・立川 智勝（㈱立川機械製作所）		
4　沿岸海域に伏在する海底活断層検出に向けたドローン空中磁気探査の試み		
★　〇丸山純也・藤原寛・内田康人（北海道立総合研究機構）		
機器展示案内	司会　事務局	11:55～12:10
昼　食		12:10～13:30
通　常　総　会 （欠席者は委任状の提出をお願いします）		13:30～14:30
機　器　展　示		14:30～15:00
研究成果発表(2)	座長　千葉 元（大島商船高等専門学校）	15:00～17:00
5　AUV による音響通信品質のリアルタイム推定手法		
★　〇竹本健人・下野宗司（東大生産研）・山縣広和（日工大）・巻俊宏（東大生産研）		
6　AI による MBES ノイズ判別（その 3）：次世代 AI モデルの開発 2		
〇岩渕洋・大河原聖・横井康弘・植木俊明（㈱海洋先端研究所）		
7　海底地震観測網がとらえたクジラの鳴音について		
〇望月将志（防災科研）・中村武史（電中研）・岩瀬良一（海洋研究開発機構）・髙橋成実・植平賢司（防災科研）		
8　洋上海面高測量の黎明　―水路測量基準面 2025 の課題と期待―		
〇小田巻　実（元海洋情報部）		
懇　親　会 会場：マリンカフェ（東京海洋大学 越中島食堂）		17:30～19:30

・研究成果発表（20 分）　発表 15 分、質疑応答 5 分
・特別講演（50 分）　講演 40 分、質疑応答 10 分
・特別セッション（30 分）　講演 25 分、質疑応答 5 分

★若手優秀発表賞の対象者

第 2 日　11 月 27 日（金）

特別講演　座長　道田　豊　10:25～11:20

SL　海洋を支える次世代サイバーインフラの展望：情報通信技術の最新動向

中尾 彰宏 （東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻教授）

研究成果発表(3)　座長　篠原　雅尚（東京大学地震研究所）　11:20～12:00

9　水中での WiFi 通信：長期海底観測中のデータ回収に向けて

〇塩原 肇・西田 周平・荒木 英一郎・伊藤 亜妃（海洋研究開発機構）

10　山口県周防大島のニホンアワサンゴ繁殖地の精密海底地形及び海洋環境特性の調査

〇千葉 元・福本 勇規・本木 貴久・砂田 智裕・北村 祐一（大島商船高専）・吉田 将司（サレジオ工業高専）・筒井 英人（長崎大水産学部）

昼　食　12:00～13:00

研究成果発表(4)　座長　海宝　由佳（海洋研究開発機構）　13:00～13:40

11　地震学・海洋学・高エネルギー地球科学と連携した海底測地技術の進展

〇石川 直史（海上保安大学校）・横田 裕輔（東大生産研）・渡邉 俊一・中村 優斗・入江 芳矢（海洋情報部）・河野 賢司（東大生産研）

12　漁業練習船の日本海実習航海におけるメタンハイドレートプルームの継続観測 II

山脇 信博・森井 康宏・ 筒井 英人（長崎大水産学部）・〇千葉 元（大島商船高専）・竹内 章（富山大名誉教授）・ 合澤 格・ 眞角 聡・丸山 裕豊・ 木下 宰・ 保科 草太（長崎大水産学部）・ロバートジェンキンズ（金沢大理工研究域）・千手 智晴（九州大応用力学研）

休　憩　13:40～13:55

特別セッション：「海洋調査における通信・ネットワーク技術の最前線」　13:55～16:20

座長　水野　勝紀（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

SS1　新たな浮体式小型波浪計の開発と今後の展開

田村 仁 （港湾空港技術研究所海洋利用研究領域上席研究官）

SS2　電波通信による遠隔操作が可能な海中ロボット「Mega Bee」の紹介

西田 祐也　（九州工業大学准教授）

SS3　リアルタイムかつ長期定点観測を実現する海洋 IoT モニタリングシステム「MizLinx Monitor」

野城 菜帆　（株式会社 MizLinx CEO）

SS4　深海探査機の運用における水中音響通信の現状と展望

渡邊 佳孝　（海洋研究開発機構技術研究部門主任研究員）

質　疑　応　答　16:00～16:20

若手優秀発表賞　審査結果および授与式　16:20～16:25

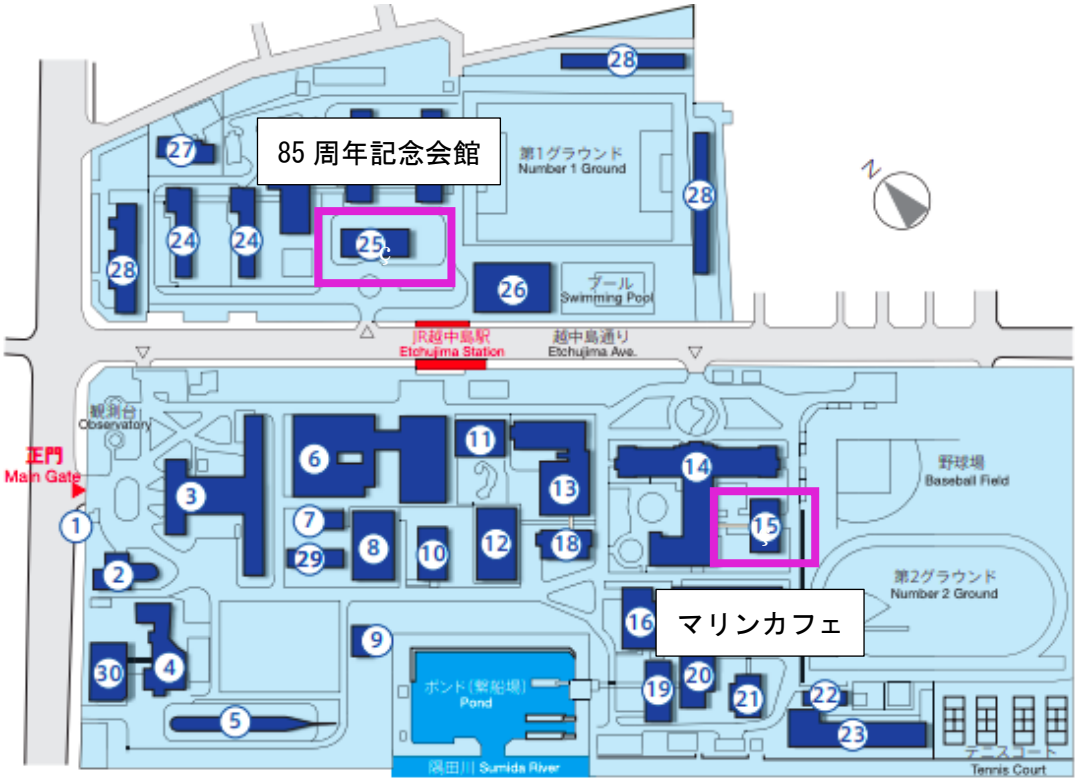
閉会挨拶　副会長　下島　公紀　16:25～16:30

海洋調査・測定機器展示（会場：８５周年記念会館多目的スペース）

11 月 26 日（木）10:30～17:00、11 月 27 日（金）10:30～15:00

・JFE アドバンテック株式会社　・株式会社鶴見精機　・マリメックス・ジャパン株式会社

会　場　案　内



東京海洋大学 越中島キャンパス

海洋調査技術学会 _

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

パレスサイドビル毎日学術フォーラム内 _(jsmst@mynavi.jp)

URL：http：//jsmst.org/